

予定帝王切開●奥村知世

入院の前にやること図書館の本を読み切り返却することできるのはそわそわすることだけと言う夫に水を買いに行かせる入院しバーコード付のタグをはめ身体は管理の対象となる

目的地ここかもしれない救急車サイレンの音が闇夜に響く

「絶好のお産日和」の朝となる手術室には窓がないけれど

つながった点滴の分肉体が拡張している扉が狭い

麻酔まえ最後の胎動ひとつあり今から産まれるとも知らないで研修医に説明しつつ腹を切る主治医は料理をするかのように

ディズニーのBGMと心電図電子音鳴り出産進む

まさに腹を切られつつ交わす会話なり「お名前はもう決まりましたか？」
女医たちは腹を縫いつつそれぞれの夫の話や子どもの話

手術時間カウントされて一時間十五分にて終わる出産

麻酔した身体は丸太 数人でよいしょよと運ばれるまま
小粒ちゃんと新生児室であだなつく息子の体重二五四〇グラム
介助されベッドの脇で立ち上がり座つて今日のノルマは終わり
新生児背中には濃くふさふさと産毛が生えて獸のなごり
導尿管点滴硬膜外麻酔 管が抜け行く産後三日目

ロビーにて眠る男性おそらくはもうすぐ父になる男性か
一日に二十グラムは育つという大きさじ一杯よりやや多く
ゴールデンウイーク皆は旅行するSNSに出産報告